

令和5年度 事後評価シート

施策	14 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化
K G I	①児童生徒の授業の理解度 小学校 【基準値】80.5%（令和4年）【目標値】83% ②児童生徒の授業の理解度 中学校 【基準値】75.7%（令和4年）【目標値】79% ③県立高校の生徒の授業の理解度 【基準値】82.8%（令和3年）【目標値】86%

【細施策シート】

		担当部局	教育委員会					
細 施策	14-5 教職員の資質向上	施策KGI	①・②・③					
K G I	研修内容を活用している教員の割合							
	KGI種別	上がると良い指標	R 5 年 度	R 6 年 度	R 7 年 度	R 8 年 度		
	時点・期間	R4年度	時点・期間 R5年度	時点・期間 R6年度	時点・期間 R7年度	時点・期間 R8年度		
	現状値	95.1 %	目標値	95.1 %	目標値	95.1 %	目標値	95.1 %
			実績値	89.1 %	実績値	%	実績値	%
達成率			93.69 %	達成率	%	達成率	%	
判定			未達成	判定		判定		
5 年 度	要因分析 【必須】	研修の効率化が図られるよう、対面・集合型の研修とオンライン・オンデマンド研修を組み合わせるなど、実施方法の最適化に努めた結果、学校現場で直面する喫緊の課題の多様化や教員の多忙感などに加え、教員の資質向上は、一朝一夕には実現できない分野であることから、目標達成に至らなかったと考えられる。						
	改善の方向性 【必須】	初任者であっても経験豊富な教職員であっても、常に社会状況が変化中、現状に満足することなく、自ら学び続け、成長し続けることが重要であるとの認識のもと、KGIの目標達成に向けて、研修を実施する際には、受講そのものを目的化するのではなく、その成果がどのように職務に生かされるかという視点を持って行う。また、研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励により、教職員が自分の強みや弱み、今後伸ばすべき力や学校で果たすべき役割などを踏まえながら、必要な学びを主体的に行っていくことができるよう、引き続き研修体制の整備と体系的な研修の実施に努める。						